

「学生の授業評価」についての教員アンケート  
集計結果報告（2012年度 後期分）

2013年7月

実践女子短期大学自己評価委員会

## 2012 年度後期「学生による授業評価」に関する教員アンケートについて

自己評価委員会委員長 松尾昇治

2012 年度後期の『教員アンケート集計結果報告書』が完成しましたのでお届けします。先生方にはお忙しいなかをアンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。

本学は、平成 24 年度を対象に短期大学基準協会による第三者評価を受けることになりました。評価内容には、教育の効果や学習の成果が求められており、本学の教育活動の自己点検・評価を行うにあたり、「学生による授業評価」および「教員アンケート」が評価資料として大いに役立てることができました。

今回のアンケートにつきましては、昨年度後期より 5 通少なく合計 39 通の回答が寄せられました。ここ数年は本学の規模の縮小に合わせるように回答数の通減傾向が続いております。渋谷新校舎での授業展開になります平成 26 年度を節目に、学生による授業評価アンケートの内容や実施方法についての改善が必要と考えております。

集計結果のグラフを見ますと、「学生の評価を全体としてどう受け止めましたか」という問いに対して、「十分に納得できた」(61.5%)と「だいたい納得できた」(38.5%)となっています。「あまり納得できない」との回答は 0 件でしたので、学生の授業評価を信頼できるものとして納得いただけたと考えられます。

学生の評価結果を踏まえて、授業の改善を図りたい点や学生に対する要望につきましては、グラフ集計結果と合わせて自由記述をご覧ください。例年と同様にご意見やご感想をいただきましたので、授業評価に対する各先生のコメントをお読みいただき、学生の状況を把握するとともに授業の改善などの参考にしていただきたいと思います。

なお、編集にあたりましては、「特になし」などの記述は無回答といたしました。繰り返しを避けるため、同じ趣旨のご意見も一つにまとめました。今回も読みやすさを考慮するとともに、回答者名や科目が特定されることを避けるために、字句や表現の修正を行っていますことをご了解ください。

設問 5 (授業改善に関する学校への要望) および設問 6 (学生アンケートの内容、実施方法) においてご要望をいただきました。本委員会において内容を精査し、ご要望に対する回答を本委員会と担当事務部で作成し、「教員アンケートによるご意見」としてまとめました。今後改善にむけて検討していきたいと考えておりますが、本学の置かれている状況もご理解いただきたいと思います。

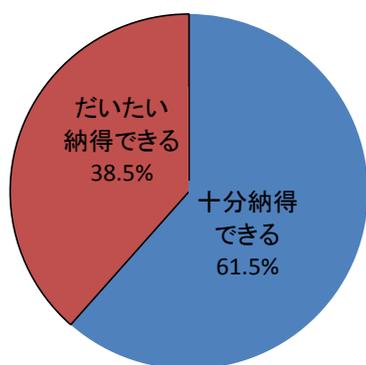
最後になりますが、この報告書が教員の皆様に活用され、授業の改善および向上に資することができますことを願っております。

## I. 設問 1、3、4に関する集計結果

— 平成24年度後期と平成23年度後期の比較 —

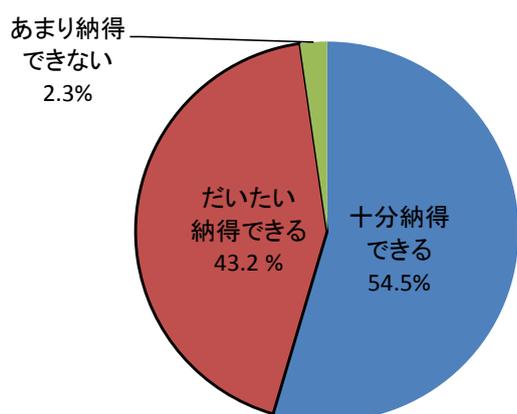
設問 1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。(一つ選んでください)

### 平成24年度後期



選択肢	回答(人)	割合
十分納得できる	24	61.5%
だいたい納得できる	15	38.5%
あまり納得できない	0	0.0%
合計	39	100.0%

### 平成23年度後期



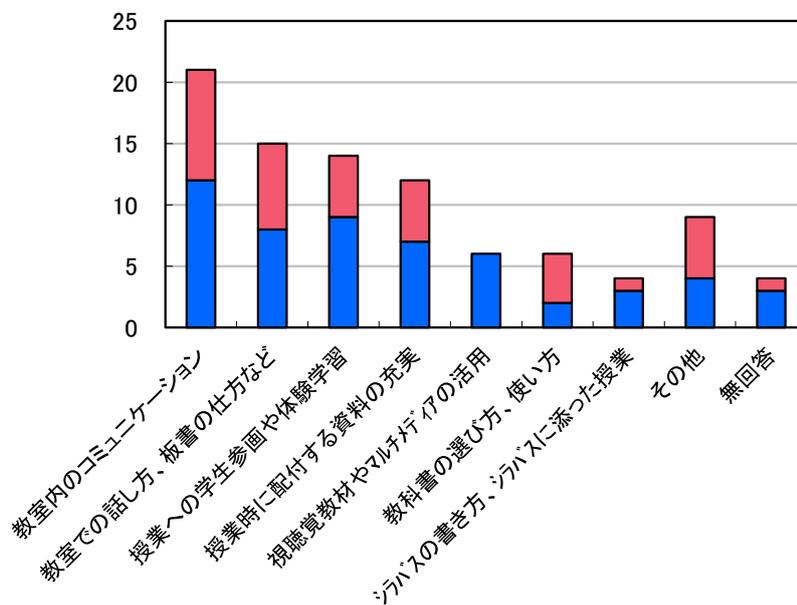
選択肢	回答(人)	割合
十分納得できる	24	54.5%
だいたい納得できる	19	43.2%
あまり納得できない	1	2.3%
合計	44	100.0%

次の設問3および設問4は、学生の評価に「十分納得できた人」「だいたい納得できた人」「あまり納得できなかった人」の3群の先生方が、どのように授業改善を図りたいと考えているのか、学生に対してどのような要望をお持ちかを、それぞれ棒グラフにしました。

**設問3-1 学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。（複数回答可）**

平成24年度 後期

(人)



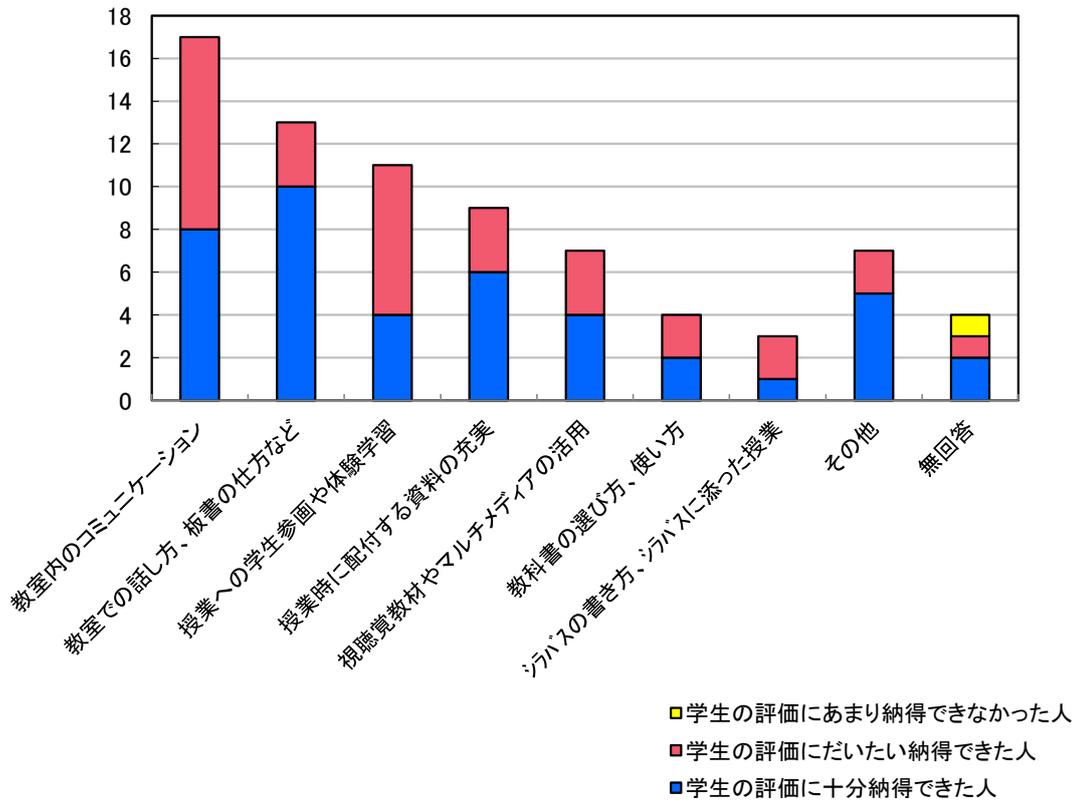
■ 学生の評価にだいたい納得できた人

■ 学生の評価に十分納得できた人

授業で改善を図りたい点	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	合計 (人)
教室内のコミュニケーション	12	9	21
教室での話し方、板書の仕方など	8	7	15
授業への学生参画や体験学習	9	5	14
授業時に配付する資料の充実	7	5	12
視聴覚教材やマルチメディアの活用	6	0	6
教科書の選び方、使い方	2	4	6
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	3	1	4
その他	4	5	9
無回答	3	1	4
合計	54	37	91

## 平成23年度 後期

(人)

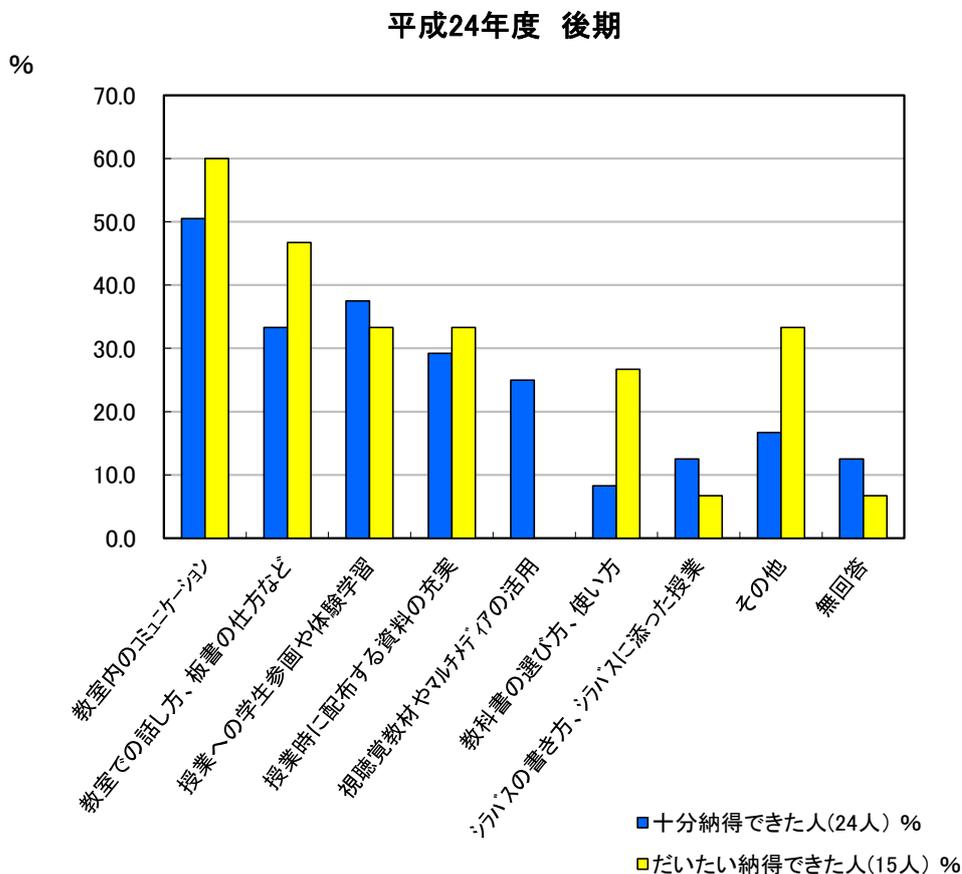


授業で改善を図りたい点	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
教室内でのコミュニケーション	8	9	0	17
教室内での話し方、板書の仕方など	10	3	0	13
授業への学生参画や体験学習	4	7	0	11
授業時に配布する資料の充実	6	3	0	9
視聴覚教材やマルチメディアの活用	4	3	0	7
教科書の選び方、使い方	2	2	0	4
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	1	2	0	3
その他	5	2	0	7
無回答	2	1	1	4
合計	42	32	1	75

学生の評価に「十分納得できた人」と「だいたい納得できた人」の割合の差について

設問3-2

学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。（複数回答可）



授業で改善を図りたい点	十分納得できた人 (24人)		だいたい納得できた人 (15人)		合計 (人)
	人	%	人	%	
教室内のコミュニケーション	12	50.0	9	60.0	21
教室での話し方、板書の仕方など	8	33.3	7	46.7	15
授業への学生参画や体験学習	9	37.5	5	33.3	14
授業時に配布する資料の充実	7	29.2	5	33.3	12
視聴覚教材やマルチメディアの活用	6	25.0	0	0.0	6
教科書の選び方、使い方	2	8.3	4	26.7	6
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	3	12.5	1	6.7	4
その他	4	16.7	5	33.3	9
無回答	3	12.5	1	6.7	4

※ 無回答を除く1人当たり回答件数 2.3件

2.5件

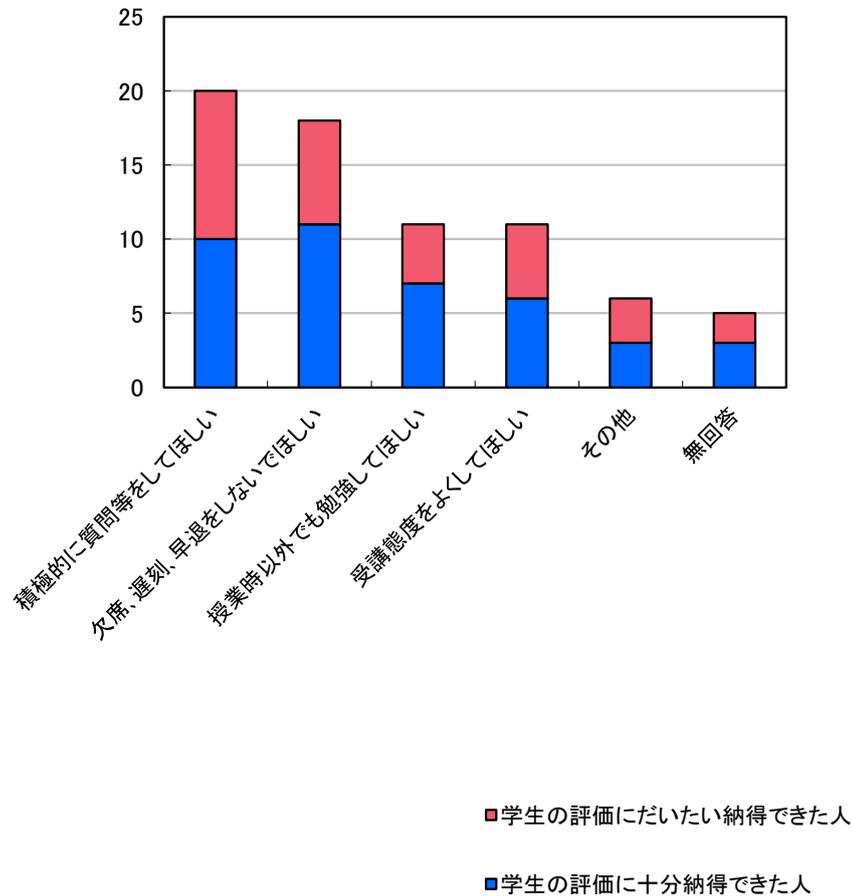
(注1) …「十分納得できた人」24人に対する割合

(注2) …「だいたい納得できた人」15人に対する割合

設問 4-1 この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。  
(複数回答可)

平成24年度 後期

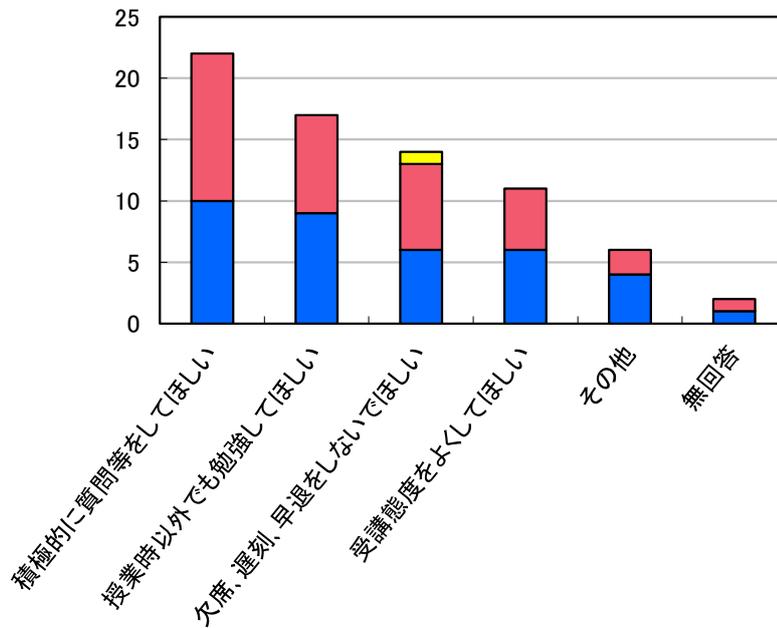
(人)



学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	合計 (人)
積極的に質問等をしてほしい	10	10	20
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	11	7	18
授業時以外でも勉強してほしい	7	4	11
受講態度をよくしてほしい	6	5	11
その他	3	3	6
無回答	3	2	5
合計	40	31	71

平成23年度 後期

(ウ)



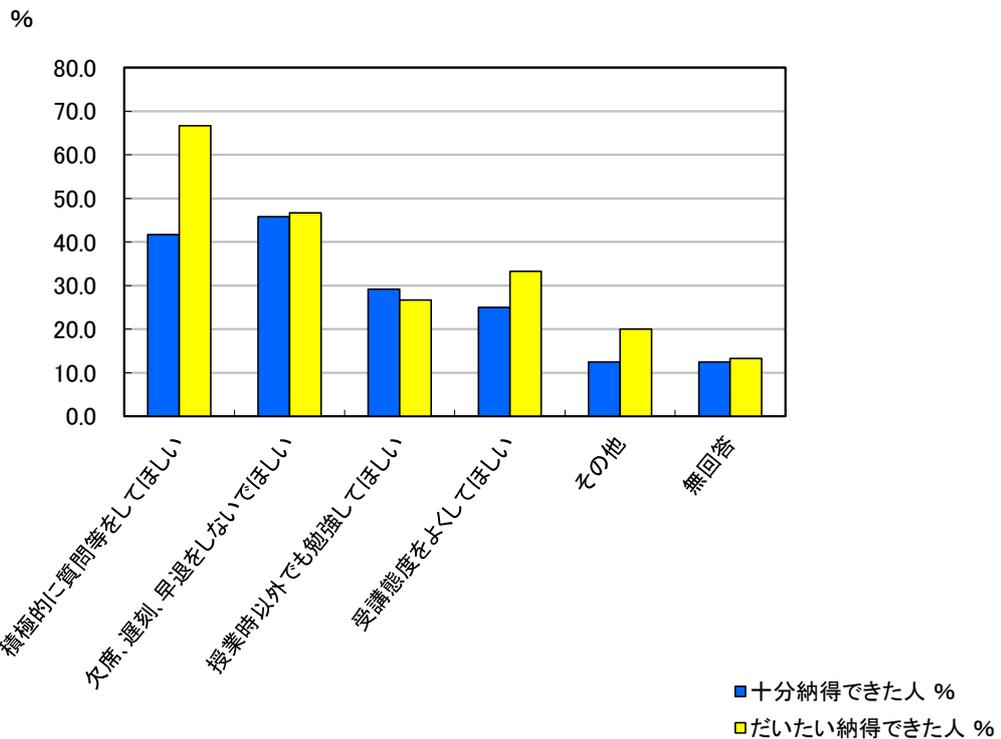
- 学生の評価にあまり納得できなかった人
- 学生の評価にだいたい納得できた人
- 学生の評価に十分納得できた人

学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
積極的に質問等をしてほしい	10	12	0	22
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	9	8	0	17
授業時以外でも勉強してほしい	6	7	1	14
受講態度をよくしてほしい	6	5	0	11
その他	4	2	0	6
無回答	1	1	0	2
合計	36	35	1	72

(複数回答可)

設問 4-2 この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。

平成24年度 後期



学生に対する要望	十分納得できた人 (24人)		だいたい納得できた人 (15人)		合計 (人)
	人	%	人	%	
積極的に質問等をしてほしい	10	41.7	10	66.7	20
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	11	45.8	7	46.7	18
授業時以外でも勉強してほしい	7	29.2	4	26.7	11
受講態度をよくしてほしい	6	25.0	5	33.3	11
その他	3	12.5	3	20.0	6
無回答	3	12.5	2	13.3	5

※1人当たり回答件数

1.7件

2.1件

(注1) … 「十分納得できた人」24人に対する割合

(注2) … 「だいたい納得できた人」15人に対する割合

## II. 設問 1 から 6 に関する自由記述のまとめ

\*科目および担当者が特定される記述は、文章を損ねない範囲で修正いたしました。  
また、類似の記述については、まとめさせていただきましてことをご承知ください。

### 設問 1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。 (有効回答数 27/39)

#### 1. 十分納得できる (有効回答数 18/24)

- ・授業中の学生たちの顔の表情や、態度、質疑応答時の発言の程度、授業への参加程度などから、アンケートの結果は納得できると思います。
- ・一人ひとりに適切な指導ができたことが評価につながったものと思う。
- ・前年度は履修者が 13 名であったが、今年度は 7 名となったこともあり、課題に対する個々の学生への指導が十分できた。
- ・100%の「大満足」の評価をしてくれて、とてもうれしいです。教える側として努力したかいたが良かったと思います。
- ・学生の授業に対する興味と関心、意欲に応えることができたと考えられるアンケート結果です。そして、学生が授業から得られる新しい知識と情報にも応じることができたのではないかと思います。
- ・学生の総合満足度が 100%という科目があった。学生と一緒に楽しく学ぶことができたという教員の実感がそのまま反映されていた。
- ・おおむね予想された評価結果であった。
- ・初めての学習内容ということを考えれば、難しさについての率直な感想は述べられていると思います。少し欠席回数が多い学生にとっては積み重ねの講義なので、レベルが高いという感想を懐いているように思われます。
- ・短大全科目の平均と同じ様な平均だった。
- ・おおむね興味を持って、熱心に授業に取り組んでもらえたのは良かったと思う。
- ・学生のモチベーション、英語力を考慮して、努力したことが、学生の良い評価につながったと納得できます。
- ・グループによる調査報告やグループで議論させるなどの機会を多く設定したが、その際テーマに関係ない会話になってしまうケースがあり、注意したつもりだったが、なかなか制御できないときもあったので、I-1 (授業中に授業と関係ない会話をしたか) のような結果になったと考えられる。
- ・多くの学生が「満足」と回答していました。私の授業への熱意と工夫を正當に評価してくれたものと思います。
- ・授業の意図を学生がよく理解してくれていた。
- ・もう少し具体的な意見があるとありがたいです。また、講義期間中の学生の意見が聞けると途中で内容修正等でき、より良い講義になると思います。
- ・演習課題を増やしたので、おしゃべりが随分減って、演習に集中できるようになってきました。

た。

- ・現在の若い学生の興味を惹きにくい内容も多くありましたが、なるべく身近な話題として感じてもらえるように工夫したつもりでしたので、その意図を十分組んでくれたようで良かったです。
- ・多数学生の授業評価の結果に対して賛成します。次の学期に向けて完璧な評価を得ようと努力します。

## 2. だいたい納得できる (有効回答数 9/15)

- ・いつもテキストの選択の難しさを感じるとともに、授業において理解を得るためにもっと工夫が必要であると痛感します。
- ・授業内容がアカデミックな観点から見て適切なのか、単に学生にとって楽なことが適切とされるのかといった、このアンケート自体の意味が曖昧であるため、授業内容の評価の点からは納得できません。学生の率直な感想という点では、納得できます。
- ・だいたい納得できる結果で意外なものではなかったが、1つの科目で「意欲的に取り組んだ」と答える学生が他の科目よりも少なかった。満足度は特に低くないので、理由を考えている。
- ・納得できる点として少人数で毎回授業後に「ふりかえり」レポートを提出してもらい、授業理解や思いが把握できたことです。
- ・有効回答数によって評価が上下する傾向があるように見受けられる。
- ・結果が良かったのは、3科目ともに、受講者の学年別人数の割合・授業の目標・授業の方法（学生とのコミュニケーション・板書の量・パワーポイントの効果的使用・プリントの量）など、毎回学生の反応を見ながら工夫した結果と、受講学生の学年比率と内容があったため。
- ・解りやすさという点が低めになっていますが、3つの授業とも通常の授業と異なり、一人ひとりが自分で考えて創作する部分があるので、苦手な学生には解りにくいと感じてしまうことがあります。
- ・多くの学生の回答は納得できる評価ではありますが、一部の学生は適当に回答しているようです。
- ・わかりやすい説明が評価されて良かった。

## 3. あまり納得できない (有効回答数 0/0)

<なし>

設問2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について、先生の側から見たご意見をお書きください。

### a. レベルについて (有効回答数 32/39)

- ・将来の職業に結びつく専門科目として、必要なレベルと受け止められたと思います。
- ・学生の反応を見ながら授業を進めたことがよかった。
- ・昨年の学生より今年の学生の方が、理解力が高かったため、昨年の課題よりも密度の濃い成果を上げることが出来たと思う。

- ・評価は4.6でしたので、レベルは適切なのではないかと思います。
- ・授業方法を教員主導でなく、学生自身で気づいたり調べたりすることが主体となるものに変更したところ、「ややレベルが高い」といわれていた内容が「とてもレベルが高い」に変化した。レベルのとらえ方が授業方法と相関する問題であることを実感させてもらった。
- ・正しく評価されていた。
- ・担当科目に関しては、全体的に用語や歴史などが少し難しかったのかも知れません。
- ・担当科目に関しては、基礎的な部分から出版界の情報、課題（マガジン製作）など、学生側からみると、大変だったようですが、その分最終的に得られるものも多かったと思います。もう少しわかりやすい内容で伝えることを工夫する必要があると思います。
- ・導入部分では広く浅く、核心部分ではより深く探求する方法が功を奏したようである。
- ・おおむね妥当と思われる評価結果であった。できるだけ平易なレベルになるよう心がけているが、年々、理解力や学習意欲が低下しているように感じる（講義内容の理解力確認小テストなどを通じて）。
- ・レベルについては、一般社会人になる前の内容としては必要かつ理解すべきレベルと考えてよいと思いますが、講義のテーマが実社会で身近なテーマであるということを理解して学習しないと学生自身の判断が難しい講義であると考えます。
- ・演習の問題が、理解しがたいようだった。
- ・授業内容のレベルについては、まあまあ適切と受け止められていたようだ。英語による原文を読むなどやや難しいと思われる内容もあったが、良かった。
- ・共通科目の教材のため、海外のテキストで、英語が苦手な学生には難しいこともあり、よりフォローする手立てを考えたい。
- ・興味ある題材を深めることができ、レベルも問題なかった。
- ・80パーセント以上の学生が、レベルが適切であったと感じていることから、おおむね、学生の興味・関心に合わせた授業ができたかと思うが、どちらともいえない、との回答が、難しかったのか、易しすぎたのか、Ⅲ-10（授業内容の難易度）で、回答させてほしかった。
- ・「レベルが高すぎる」と回答した学生は、授業そのもののレベルではなく、例えば「毎週の小テストの勉強がめんどくさい」あるいは、「予習が必要なプリントをやるのがいやだ」、「定期試験の勉強をするのがいやだ」ということなのではないでしょうか。
- ・興味を持っていただけたようでよかったです。
- ・学生のレベル差が大きいので、レベルに応じた演習課題を与えているが、全体的にもう少しレベルを上げて大丈夫ではないかと考えている。
- ・1つの授業の方で「やや易しい」という意見が大半でした。難度を上げないように気をつかいました。易すぎたかもしれません。「やや難しい」が少し多くなるくらいが高等教育の授業としては望ましいと思っています。
- ・学生は授業をあまり難しいと思っていないようです。
- ・簡単にした方が評価はよくなるようです。
- ・概ね合っていた。
- ・労働法や企業、組織についての説明はできるだけ身近なテーマを設定してみました。が、「どちらともいえない」という学生が2割というデータから、まだ1年生という時期には難しい、

興味がまだわいてこない点が伺えます。

- ・ a (レベル)、b (量) ともに②か① (そうは思わない) にマークした人以外の学生にも聞いてみてはいかがでしょうか。
- ・ 難易度について (あまり) 「適切でない」と答えたうちの 8 割が「やや難しい」と回答していた。学生側からすれば「適切でない」かもしれないが、そのくらいでちょうど良いとも考えられる。ただ、学生の能力差を考慮する必要性は常に感じている。
- ・ 3 科目の平均 8 割が、今回「強く思う」「やや思う」との評価。基本を丁寧に伝え、そこに授業を通しての反応と授業後に提出してもらう授業メモの内容を合わせ、専門的知識を加えた結果か。しかし、それ以上に科目内容と受講生の学年、人数、姿勢に恵まれた。
- ・ 難しいと感じさせてしまった授業があったようです。PC が苦手な学生は、付いてくるのがやっとという状況が見られましたので、今後はもう少しゆっくり時間をかけて進めるよう調整したいと思います。
- ・ 多くの学生が適切であったと評価していますが、授業内容が「難し過ぎた」「やや難しい」との回答があり、授業に付いて行けない若干の学生が心配であります。
- ・ 一般常識としての講義内容なので、レベルはあまり高くない。次年度についてはもう少しレベルを上げていきたい。
- ・ クラスのレベルに応じて難易度を変えたのが良かった。
- ・ 新しいことを学んでいるので、少々難しいと感じるのは仕方がないのかもしれない。

#### b. 量について (有効回答数 26/39)

- ・ 講義開始初日に、資格取得のための専門教科として講義内容も提出課題も、配布資料も多くなることを話しておいたためか、妥当な量として受け止められたと思います。
- ・ 適切であった。
- ・ 学生の理解度と課題に対する進捗状況を勘案しながら量を調整したが、結果的に当初想定したよりも多くの量を消化できたと思う。
- ・ 評価は 4.9 でしたので、量は適切なのではないかと思います。
- ・ 正しく評価されていた。
- ・ 2 つの科目とも、授業に関連する資料を充実して配付することを心がけておりました。資料によって学生の理解を助けることができたと思います。ただ、少し量が多かった科目もあったかも知れません。
- ・ 導入部分では、広く浅く、核心部分ではより深く探求する方法が功を奏したようである。
- ・ 大学の講義よりも 1 回の講義の分量を少なくするようにしている。妥当な評価であった。
- ・ 講義の量については、大学生レベルでは、決して多いものではないと思います。ただし復習の時間をしっかりとっている場合を前提として考えていますので、多いと感じた学生は自宅学習について意識するようにしてほしいと考えています。
- ・ 他の設問に比べると、授業内容の量があまり適切ではなかったと答える学生が多い。おそらく少なすぎたのではなく多過ぎたということだろうが、もう少し余裕をもって授業を進めるよう授業内容を精査したい。
- ・ 共通科目で、決められた範囲を進むため、課題をこなすのが難しい学生には、より丁寧な指

導をしていきたい。

- ・適量であった。
- ・80 パーセント以上の学生が、量が適切と感じている。数回にわたる調査報告、グループでの議論とまとめ、小レポートなど、課題が少し多すぎるかと心配していたが、学生はよくがんばってついてきたと感謝している。
- ・「レベル」と同様、「楽で簡単な授業」しか受けたくない学生にとって、「学生の英語力を上げるための課題」などは、どんなに少なくても「多い」と感じるのではないのでしょうか。学生の勉強への意欲のなさの現れと考えます。
- ・適切と思いますが、全講義出席することを前提にカリキュラムを組んでおりましたので、欠席が多い学生は、理解度が低くなってしまったかもしれません。
- ・演習課題を終えた人に、より多くの追加の課題を与えたが、量が多いだけでは飽きてくるようで、もう少し種類の違った課題に展開した方がよかったかも知れない。
- ・片方の授業で「やや多い」という意見が若干ありましたが、前期より板書量を少し減らすようにしましたので、だいぶ適量になったのではないか。板書も機械的にすべてノートに取るのではなく、工夫をして自分なりのノートを作るように心がけてほしいと思います。
- ・学生は仕事量（勉強量）に関して満足の様です。
- ・宿題なし、予習なしにしたほうが評価はよくなるようです。
- ・概ね適量であった。
- ・自己理解、企業研究、法律、マナーなど多岐にわたる分野を扱うので、ややボリュームが多くなることもありました。
- ・量的に少し多めかと心配されたが、毎回別のテーマを扱うことにより幅広く学ぶことができ、新鮮な印象を与えられたようであった。
- ・a（レベル）と同じ結果である。基本を丁寧に、そこから学生自身が興味や関心を持って自己開拓してもらうようにした。嬉しかったのは、「この授業を受講して、新しい知識…を得ることができましたか」の回答「強くそう思う」が、平均 66.5 で最低 53.8 だったことだ。
- ・PC の授業は課題がやや多めに感じられたようです。半分くらいの学生は、早く終わって退屈している時間が多くなるという個人差の大きい授業ですので、時間と量の調整が難しいですが、今後は少し調整したいと思います。
- ・適切な量が消化できたと思う。
- ・一通り話すとなると、どうしても量が多くなる。

**設問 3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどんなことですか。**

**(有効回答数 11/39)**

- ・今後の授業を改善させるため、音楽、詩及びインターネット等を利用しようと思います。
- ・一方的な講義より、ワーク等を導入した講義の方が「学生自身について」評価結果が高いと思われる。今後は学生側の参画も可能となるよう工夫していきたい。
- ・時々意見や質問、感想などを書いて提出させているが、講義の時間が足りない時はなかなかできない。自分からは質問してこないのもっと頻繁に質問を書かせようと思う。
- ・興味が持たれたと思われる内容に対して、さらに学べるよう援助をしたい。

- ・学生自身が自力でまなぶことを重視するなら、レベルや量については学生の現実を基準としなければならない。その「学生の現実」を的確に把握することが、現在の私の課題になっている。
- ・上記（教科書の選び方、シラバスの書き方、教室での話し方、視聴覚教材の活用、教室内でのコミュニケーション、授業への学生参画）の選択項目に関しては、常に心がけております。6番目の項目（教室内でのコミュニケーション）とも通じますが、数年間の授業を通じて学生の授業参加（質疑応答、コミュニケーション）はよくなっていると思います。ただ、活発に参加する学生以外の学生も授業に興味を持ち、全体的に皆が自由に発言できる雰囲気を作っていく工夫を重ねていきたいと思っております。
- ・今回は学生が少なめで、6（教室内でのコミュニケーション）、7（授業への学生参画）がしやすかったのですが、学生が多いと難しいです。
- ・レベルと時間の割り振りを若干調整しようと思っております。
- ・上記の5（視聴覚教材の活用）以外はすべて意識して実行しておりますので、「現行通りの授業で良い」と考えます。
- ・定期的に小テストを実施し、その都度、理解の度合いを確認しながら進めて行きたいと思っております。
- ・7（授業への学生参画）にも通じますが、硬筆検定を授業中もしくは自由参加でもよいので、取り入れてほしいです（学校のバックアップがあればと思います。導入が自由ならば授業中の導入を検討します。）

#### 設問4. この評価を見て、学生に対する要望としてはどんなことがありますか。

（有効回答数 10/39）

- ・基礎知識の不足に気が付いた時は、放置せずにその不足を解消するための学びを自宅学習で行って欲しい。授業の中に補習として組み入れましたが、新たに学ぶ専門教科以外の学びに授業の時間を取られるのは、専門教科自体にボリュームがあるため、非常に厳しい状況です。
- ・グループディスカッションではなかなか意見が出てこないか、おしゃべりタイムになってしまう傾向がある。どのようにテーマにそってお互いに認め合いながら考え方の違い、価値観を共有してグループとしてまとめていくのが難しいと感じた。
- ・学生の評価は授業と関係ない会話が多かったとのことですが、人数が少ないこともあり授業は極めて静かで集中できた印象を持っていたので、1（授業中に授業に関係ない会話をしたか）の結果に関しては予想外でした。
- ・シラバスを読んだうえで選択科目を受講してほしい。
- ・講義後の小テストに質問記入欄を設けているが質問は皆無に近い。
- ・就職活動などで多忙なのかもしれないが学生の学ぶ意欲も低下しているように感じる。
- ・科学的な問題に対する興味が低いように感じる。栄養士として社会で通用するためには必要な事だと思うのですが。
- ・今回は、ほとんどの学生が1～4（受講態度を良くする、積極的に質問等をする、授業時以外でも勉強する、欠席・遅刻・早退をしない）を守ってくれた。学生の受講態度が授業理解に大きく影響し、その結果、学生たちの満足度が高かった。多くの学生がこのことをしっかり自覚してほしい。

- ・課題や宿題を指示していますが、提出状況はよくありません。また、講義の時間になる前から教室に待機し、質疑応答の時間を設けましたが、質問に来る学生はごくわずかでした。
- ・受け皿は用意していますので、自分自身のすべきことはなにかという自覚をもって講義に望んで欲しいと思います。

**設問 5. 授業改善に関することで、学科や短大に要望があれば具体的にお書きください。**

**a. ハード面（情報機器、用具、備品など）について （有効回答数 14/39）**

- ・現在、設備は充実していると思いますが、新しい校舎に移転した後、改善され、より充実することを願います。
- ・これまで通り LL 設備が渋谷校舎で CALL など新設備として使えるのか、早くはつきりさせて欲しい。
- ・4、5時限の授業を担当しておりますが、冬になると暖房が切れてしまうようでとても寒いです。
- ・情報機器など、特に支障なく、十分に利用させて頂きました。満足でした。
- ・グループワーク、グループディスカッションが多い授業なので移動しやすい机、丸くなって作業できる場所があるとありがたいです。
- ・十分満足、逆にこちらの力量不足でパソコン機材を十分に活用できていないと言えるかもしれない。
- ・ここに書くべきかどうかわからないが、上記4（学生に対する要望）に関することを書いておきたい。第1回目の授業の際、集まった学生は30名ほどで、シラバスを読んだかどうかたずねたところ、「読んだ」として挙手したのは2、3名というありさまだった。前提的な約束ごとのつもりでシラバスを執筆しているこちらとしては、むなしくなる事実である。
- ・暖房設備が乏しく、学生が寒そうで気の毒であった。
- ・講義内容によっては、板書の機会が多くなることもあるので、一度書いたものを消さないで再度利用できるような大きなものがあれば幸いです。
- ・おおむね機材がきちんと揃っていて、また助手さんがきちんと準備をしてくれて有難いと思う。欲を言えば、書画カメラとパソコン（パワーポイント）が同時に使えると嬉しい（現在は回線が同じであるため、一度にどちらかしか使えない）。
- ・直接、授業に関わることはありませんが、教室の両側がガラス窓で、授業中に地震があった際、ガラスがたわんでいて、もう少し強い揺れがくれば破損するのではないかという恐怖を感じました。ドアも鋼鉄製で、開け放したままにすることができない構造だったため、逃げ道を確保するため、かなり揺れている中、ドアを開けたまま押さえていたのですが、結構大変でした。学生も、かなり怖い思いをしたようでしたので、改善・改修が必要ではないでしょうか。
- ・各教室に CD プレイヤーを常備していただきたいと思います（盗難防止の工夫をすれば可能だと思います）。いつも教材や大量のプリントなどを両手に持っていますので、プレイヤーを持つことができません。毎回、副手をお願いしていますが、雨の日など大変な労力になります。ぜひ、常備をご検討ください。
- ・人数にあった教室の広さの確保。今回スクリーン等使用する部屋を用意していただきましたが、

学生数に対して広すぎました。

- ・プロジェクターを使用できる教室で web 接続ができれば、ネット上の画像や映像をすぐに見せる事ができて便利と思います。

**b. ソフト面等について (有効回答数 5/39)**

- ・現在の教科書から違う教科書を導入すれば良いと思います。
- ・1年生に就職への危機感を持つというのも難しいかと思うが、全体的に就職活動への心構えを含めた準備が足りないと感じています。
- ・学生の PC 操作能力を確実にする必要があります。この時代、PC が使えないのでは、就職もままなりません。わずかですが、Word すら使えない学生がいます。
- ・非常勤講師室の職員の方も、副手さんも親切にサポートをしてくださいました。非常勤のため学内に居ない時間が多いのですが、その間の学生への対応を、担当副手さんをお願いすることができ、助かりました。
- ・授業態度（おしゃべりが多い・寝ている）が悪い学生について、学校側も把握するべきかと感じます。私も興味を持っていただけるよう努力をしましたが、他の学生に対して申し訳ないです。年々悪くなってしまっている気がいたします。

**設問 6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的にお書きください。 (有効回答数 15/39)**

- ・学生アンケートの項目をもっと少なくしてもよいのではないのでしょうか。学生の間からは、「あの先生（何か厳しいことを言われたらしい）、むかつくから評価悪くしてやった」「宿題多すぎて、ダメ」といった話も漏れ聞こえてきました。このような状況では、アンケートにあまり重要性を見いだせません。
- ・アンケート用紙そのものはいいので、結果だけ送ってほしい。
- ・独りよがりの講座にならないためにも、このようなアンケートは、授業方法の検討、改善のための参考になると思います。学生からの、感想、コメントを読むのは非常に楽しく、嬉しく思います。
- ・総合満足度がさらに上がるよう、教材内容や話し方等について更なる改善を図っていききたい。
- ・最近、学生アンケートの必要性をあまり感じないのですが、3年から5年に1度ぐらいで十分な気がします。また、授業に興味を湧いたかという質問は「湧かなかった」という回答でも自分にとって興味がない分野が明らかになったという意味では「役に立った」とも言えます。授業自体の評価ではないのではないのでしょうか。
- ・教員に対して、このようなアンケートにより授業評価をフィードバックさせるような仕組みは必要であると思います。
- ・自宅に帰ってからの、復習時間等についての質問事項があってもよいのではないかと思います。
- ・グループで授業を進めて行くため、授業に関係ない会話もする事が多いのでこの質問を削除

して頂けると、嬉しいです。

- 学生のアンケートも送付していただいて状況が把握でき、今後の授業改善に使えるので、感謝しています。
- 学生アンケート実施時期が、半期の授業の振り返りを学生も教師である私も出来る時期なので、有り難い。毎学期の反省材料となっている。
- 出席率との関連が見られるようなアンケートにしていればと思います。
- 毎学期のアンケートの実施は必要かつ有益なことだと思います。特に、学生が自由に書き込む「感想」はとても参考になります。
- 編入試験対策をする授業の性格上、自由記述欄にあった2年生前期（受験直前期）における小論文の仕上げ講座を設けることができれば設けて欲しい。
- 学生自身が授業にどれくらいの努力をしているかについての質問をもっと聞くべきだと思います。
- 独自設定をしていない項目にも回答記入のアンケートがあった。

《教員アンケートによるご意見》

2012年度 後期分

希 望 項 目	回 答
LL設備が渋谷校舎でCALLなど新設備として使えるのか、早くはっきりさせて欲しい。	渋谷校舎は限られたスペースしかないため、導入については理事会の検討課題となっております。そのため、現段階では新設備として導入できるかについては未定です。(短大事務部)
・暖房設備が乏しく、学生が寒そうで気の毒であった。 ・4、5時限の授業を担当しておりますが、冬になると暖房が切れてしまうようでとても寒いです。	原則、授業時間中はボイラーを可動しておりますが、記念館やⅢ館一階は肌寒く感じるかもしれません。そのため、学生各自でもひざ掛けや暖かい服装のご協力をお願いします。(庶務担当)
授業中に地震があった際、ガラスがたわんで、ドアも鋼鉄製で逃げ道を確保するため、結構大変でした。学生も、かなり怖い思いをしたようでしたので、改善・改修が必要ではないでしょうか。	現状、今年度の改修予定はありません。消防法に基づき防火扉となっておりますので、地震の際には速やかにドアを開け、逃げ道を確保してください。(短大事務部)
各教室にCDプレイヤーを常備していただきたいと思います。	非常勤講師室に貸し出し用のCDプレイヤーがありますので、講師室にお申し出ください。常時使用されるのであれば、出校希望票にご記入ください。(教務担当)
プロジェクターを使用できる教室でweb接続ができれば、ネット上の画像や映像をすぐに見せる事ができて便利と思います。	学内ほとんどの教室でweb接続が可能です。接続方法については、各研究室あるいは非常勤講師室にお尋ねください。(教務担当)

## 「学生による授業評価」に関する教員アンケート

自己評価委員会

2012年度後期授業アンケートについて、以下のアンケート項目にお答えください。

1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。（1つ選んでください）

【回答欄】

1. 十分納得できる
2. だいたい納得できる
3. あまり納得できない

- ・ 納得できる点、あるいは納得できない点があれば具体的にお書きください。

2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について、先生の側から見たご意見があればお書きください。

- a. レベルについて

- b. 量について

3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点があれば下記からお選びください。（複数回答可）

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 教科書の選び方、授業時における使い方を工夫する。
2. シラバスの書き方を工夫し、シラバスに添った授業を行う。
3. 教室での話し方、板書の仕方などを工夫する。
4. 授業時に配付する資料を充実させる。
5. ビデオや映像資料などの視聴覚教材やマルチメディアの活用を図る。
6. 学生との質疑応答など、教室内のコミュニケーションをよくする。
7. 一方的な講義でなく学生の参画や体験学習にも力を入れる。
8. その他。

「その他」をお選びの場合には、改善を図りたいと考えている点をお書きください。

4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどんなことがありますか。(複数回答可)

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 私語を慎むなど受講態度をよくしてほしい。
2. もっと積極的に質問をしたり、授業後でも分からないことがあれば聞いてほしい。
3. 教科書や教室で指示した参考書を読むなど、授業時以外でも勉強してほしい。
4. 欠席はもちろん、遅刻、早退をしないように努力してほしい。
5. その他。

「その他」をお選びの場合には、その要望をお書きください。

--

5. 授業改善に関する事で、学校への要望があれば具体的にお書きください。

a. ハード面（情報機器、用具、備品など）について

--

b. ソフト面等について

--

6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的にお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。

集計の結果は、自己評価委員会で報告書にまとめた上、Web 上でも公表する予定です。  
なお、自由記述に関しては、必要に応じて字句や表現を修正させていただく場合があります。

提出締切は、3月30日（土）です。

# 授業に関するアンケート

実践女子短期大学

このアンケートは、学生の皆さんの意見を受けとめて、短大の授業をより良くしていくために行うものです。アンケートは無記名で行い、調査結果もデータとして統計処理します。誰が書いた回答かわかりませんし、授業の成績とも関係しません。あなたの思っていること、感じていることを正直に答えてください。

良いマーク  悪いマーク

<b>所属学科</b>	<input type="radio"/> 日本語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 生活福祉学科 <input type="radio"/> 英語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 食物栄養学科 <input type="radio"/> 実践女子大学 <input type="radio"/> その他	<b>授業名</b>	
<b>在籍学年</b>	<input type="radio"/> 1年生 <input type="radio"/> 2年生 <input type="radio"/> 単位互換生 <input type="radio"/> その他	<b>担当教員名</b>	

評 価 項 目		マ ー ク 欄					
<b>あなた自身の授業の取り組みについて</b>	1	あなたはこの授業中に授業と関係ない会話をしたことがありますか	全く しなかった (5)	ごく まれにした (4)	時々した (3)	かなりした (2)	毎回した (1)
	2	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか	そう思う (5)	やや そう思う (4)	どちらとも 言えない (3)	あまり そう思わない (2)	そう 思わない (1)

<b>教員の授業の進め方について</b>	3	講義概要などの授業計画にそって、授業は進められましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	4	授業内容はあなたにとってわかりやすく工夫されて いましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	5	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすいものでしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	6	この授業の教科書・資料や視聴覚教材の使用は 適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	7	質問に対する教員の対応は適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	8	総合的に考えて、教員は熱心に授業を進めましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→

<b>授業の内容について</b>	9	授業内容のレベルはあなたにとって適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	10	9で(2)か(1)にマークした人は次の質問に教えてください 授業内容の難易度はあなたにとってどうでしたか		難し過ぎた (5)	やや難しい (4)		やや易しい (2)	易し過ぎた (1)	
	11	授業内容の量はあなたにとって適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	12	11で(2)か(1)にマークした人は次の質問に教えてください 授業内容の量はあなたにとってどうでしたか		多過ぎた (5)	やや多い (4)		やや少ない (2)	少な過ぎた (1)	
	13	この授業を受講して、あなたの興味や関心はふえましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	14	この授業を受講して、新しい知識あるいは技術を 得ることができましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
15	総合的に考えて、この授業を受講してよかったです と思いますか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→	

<b>授業別の特別設問</b>	16	この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	17	この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→

自由記入欄（授業への感想や要望などを自由に書いてください。裏面使用可）

©2013 年度実践女子短期大学自己評価委員会

- 委員長 : 松尾昇治 (教職・図書館学課程)  
副委員長 : 加藤チイ (食物栄養学科)  
委員 : 佐藤辰雄 (日本語コミュニケーション学科)  
          日野一男 (英語コミュニケーション学科)  
庶務 : 八幡隆文、寺師香織